

リーディングDXスクール事業【AIパイロット校】

和歌山市立八幡台小学校

<校務利用> ① 材料を集めてその先を語り合おう！「ICT活用協議会」

良かったこと

クラスの雰囲気と参加姿勢

言いたかった、もっとやりたかったなどの意欲があった。

全員、聞く姿勢が非常に良かった。興味を持って参加できる授業づくりをされていると思った。

教室の空気、先生のふるまい、友達は何を言うのか聞こうという子供たちの雰囲気。

意見の発表と話し合い

資料を見て自分の意見を話すことができていた。

何の資料かいつの資料かにこだわって話し合いをしていた。

心の数直線で、全員の立場が一目みてわかったため、話し合いがスムーズに進んでいたと思った。

心の数直線があることによって、全員の立場が分かるようになっていたところが良かったと思いました。

ウーブン、シティのことに子どもたちがどこまで共有しているのか知りたいです。

資料から離れたところまで

質問コーナー

お家で車のない家庭はある？
→ない
トヨタ車はある？
→いる
「人気過ぎて他に行く」？買い手の決め手になる理由になっている？
→メーカーにとらわれず調べた。自動運転のシステムが遅れている→ウーブンシティとディーラーさんは伝えているが行きすぎたくなった。

工場に行って話を聞くこと、ディーラーさんに話を聞くこと、その人の立場からの発言を大切にしたい。
不正を乗り越えて時間はかかるけどマイナスを乗り越えるために考えていければ

頑丈などについての資料が少ない
→前時まで、どのように資料集めをしたのか。指導したことは？

インターネットの記事から持ってきていることが多い。

資料の場所を一つに集約した方がよかったのかもしれない。

谷口さんの言葉をきっかけ？
→ボンと出たので、きっかけかどうかは……。子どもたちの言葉をそのまま使えなかったのは？

10年後、トヨタがなくなるかもしれないと発言した人は、谷口さんの言

要約

意見の発表と話し合い

- ・資料をもとにした話し合いがスムーズに進んだ。
- ・子どもたちの意見を深めるための工夫の必要性が指摘された。

授業環境と技術の活用

- ・Padletや電子黒板を活用した発表が評価された。
- ・ICTツールの活用により、発表がわかりやすかった。

資料の活用

- ・資料を効果的に活用し、根拠をもって話すことができた。
- ・資料の集約や選定に関する改善の提案があった。

クラスの雰囲気と参加姿勢

- ・クラスの暖かい雰囲気が安心して話せる環境を作った。
- ・子どもたちが積極的に意見を述べる姿勢が見られた。

① 児童生徒の指導にかかわる業務の支援

研究授業協議会の際、各教員の見取りや感想を交流することに時間が費やされ、肝心な部分である「見取りを元にしたその後の授業改善」の話し合いの時間が短くなっていた。そこで、学習支援ソフトを以下の3ステップで活用した。

- 1) 個人の見取りや感想を打ち込む。
- 2) AIを活用し 意見を分類する。
- 3) 授業改善について交流する。

結果として、授業改善の話し合いの時間を生み出すことができた。

リーディングDXスクール事業【AIパイロット校】

和歌山市立八幡台小学校

<校務利用> ① 材料を集めてその先を語り合おう！「ICT活用協議会」

本校の研究テーマ

児童の主体的な学びの促進、授業の質の向上、教育のデジタル化、教育の公平性の確保、教育の持続可能性の確保、教育の国際化の推進、教育の地域連携の推進、教育の社会連携の推進、教育の国際化の推進、教育の地域連携の推進、教育の社会連携の推進

操作について

- ①みんなにお気づきのことを書いてください。
整理したときに色分けをします。
②みんなにタッチして、色分けをします。
③みんなにタッチして、上下左右に出てくる「キマール」を降すとみんなは無限に動きます。
④アップルルールも感覚操作で行えます。
*当日、このページは複数の人が同時に操作している状態になります。
*書いたみんなはそのままにして、別のみんなをみんな使ってください。
みんなは無限に出ますので1人何枚でも書いてお楽しみください。

良かったこと（赤） 気になったこと（青）

要約

意見の発表と話し合い

- 資料をもとにした話し合いがスムーズに進んだ。
- 子どもたちの意見を深めるための工夫の必要性が指摘された。

授業環境と技術の活用

- Padletや電子黒板を活用した発表が評価された。
- ICTツールの活用により、発表がわかりやすかった。

資料の活用

- 資料を効果的に活用し、根拠をもって話すことができた。
- 資料の集約や選定に関する改善の提案があった。

クラスの雰囲気と参加姿勢

- クラスの暖かい雰囲気が安心して話せる環境を作った。
- 子どもたちが積極的に意見を述べる姿勢が見られた。

<協議会スライドの全体像>

赤の付箋は「良かった点」、青の付箋は「気になった点」、黄色の付箋は「授業改善について話し合ったことなど」です。AIが内容ごとに分類・整理してくれるので、各教員の見取りをもとに授業改善についての話し合いに十分な時間を割くことができた。

また、協議会の最後にはAIの要約機能を使い、協議会の内容をまとめることで共有のハードルが下がった。